

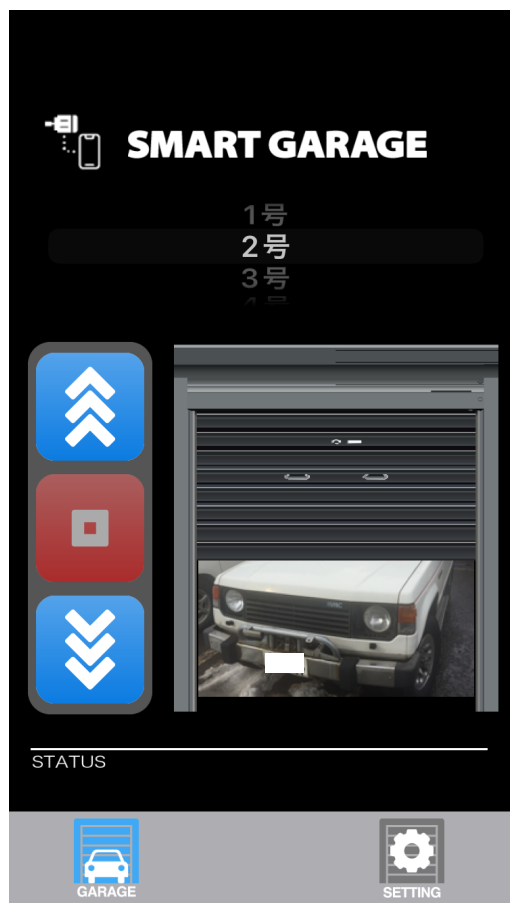
スマートガレージ 操作アプリケーション 2 操作説明 (窓タイプ用)

株式会社 システムデザイン

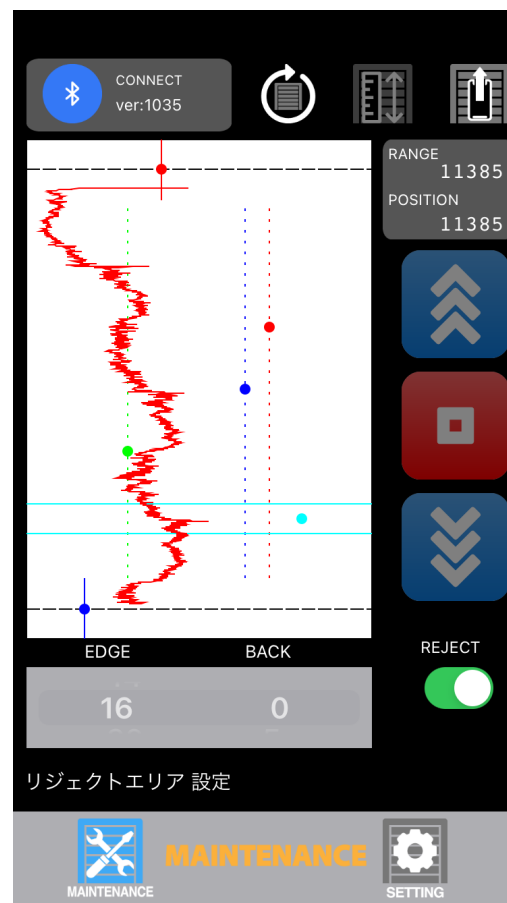
1. 画面構成

Bluetoothを使用するので、スマートホン、タブレット本体の設定からBluetooth機能をONする必要があります。
iPhoneをご利用の方は、Apple Watchでも操作が可能です。

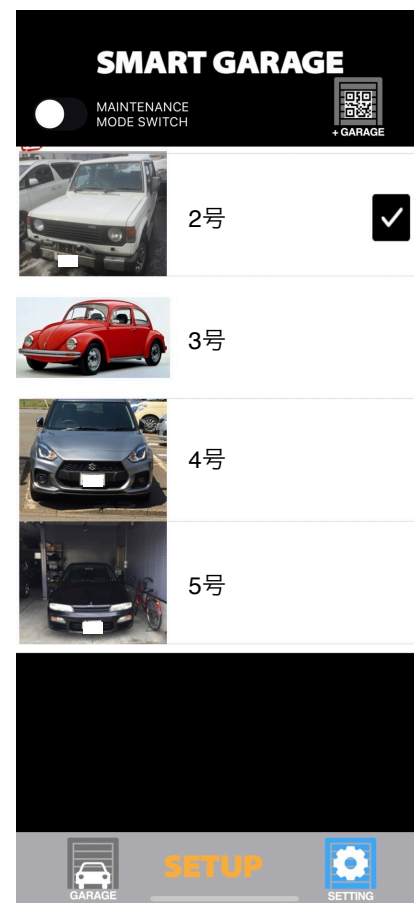
メイン画面



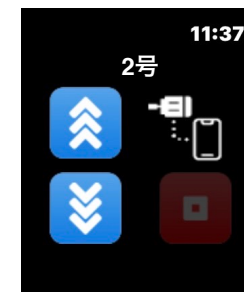
調整画面



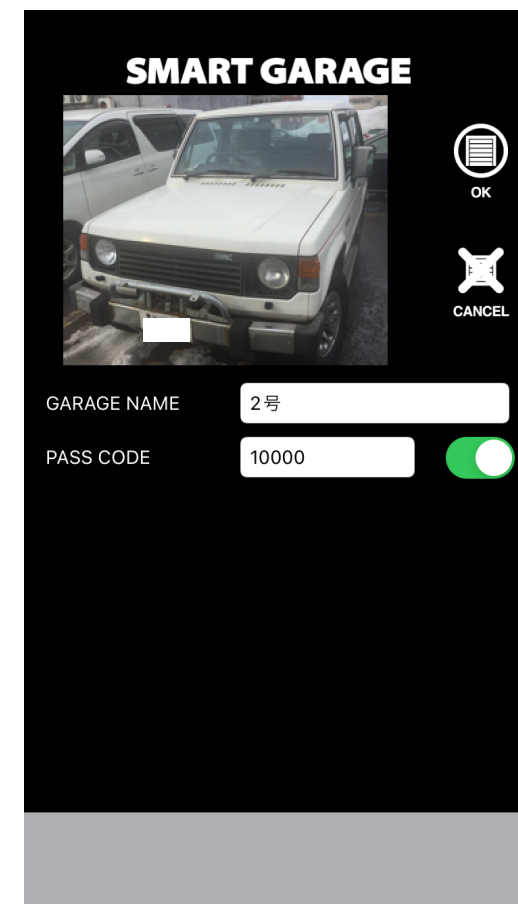
シャッター選択画面



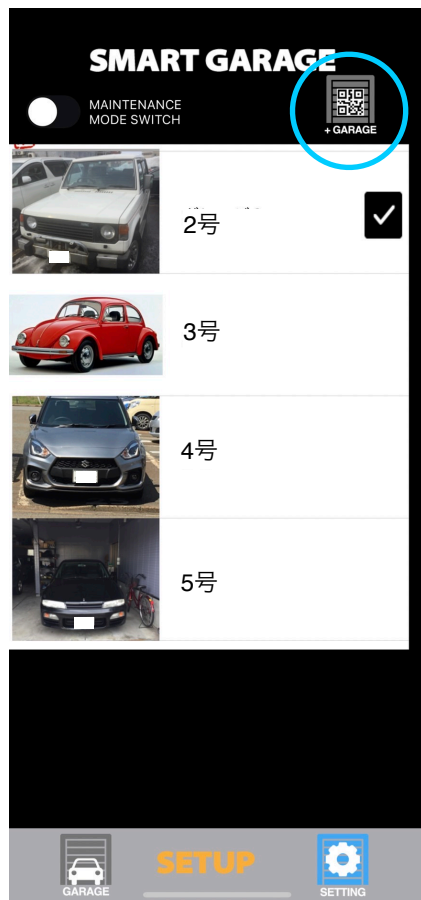
Apple Watch操作画面



シャッター登録画面



2. シャッター登録方法

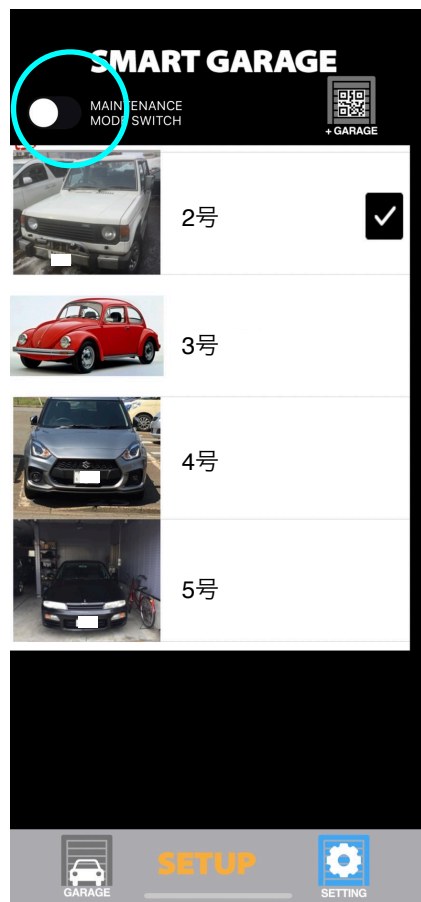


- ・シャッター選択画面を開きます。
- ・製品付属のQRコードを読み込んで、新たなシャッターを登録します。
(同スマートホンに同じQRコードは登録できません。)
- ・青丸で囲んだQRコード読み取りボタンをタップしてシャッターを登録します。
- ・リストのシャッターを左をフリックすると、登録済みのシャッターの編集、削除が出来ます。

- ・QRコードを読み込むと、登録画面が表示されます。
- ・名前、写真、パスコード有無、パスコードが変更出来ます。
- ・シャッターの写真は緑で囲った写真をタップして、設定したい画像を選択してください。
- ・初めて登録したシャッターは、パスコード有無、パスコードの変更はしないでください。
- ・メンテナンスモードではパスコードが必要となります。
- ・OKボタンをタップして登録します

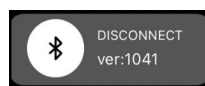


3. シャッター調整手順

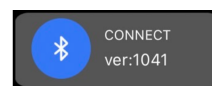


- ・シャッター選択画面を選択します。
- ・調整するシャッターをリストから選択します。
- ・青丸で囲ったメンテナンスモードボタンをタップして、通常モードからメンテナンスモード(ノブが右側)に変更します。
- ・この状態でメイン画面に戻ると、調整画面が表示されます。

- ・初めて調整する場合、右の画像の様なグラフ表示はされていません。
- ・まず、登録したシャッターに接続出来るか確認します。
- ・接続ボタンをタップしてシャッターに接続します。



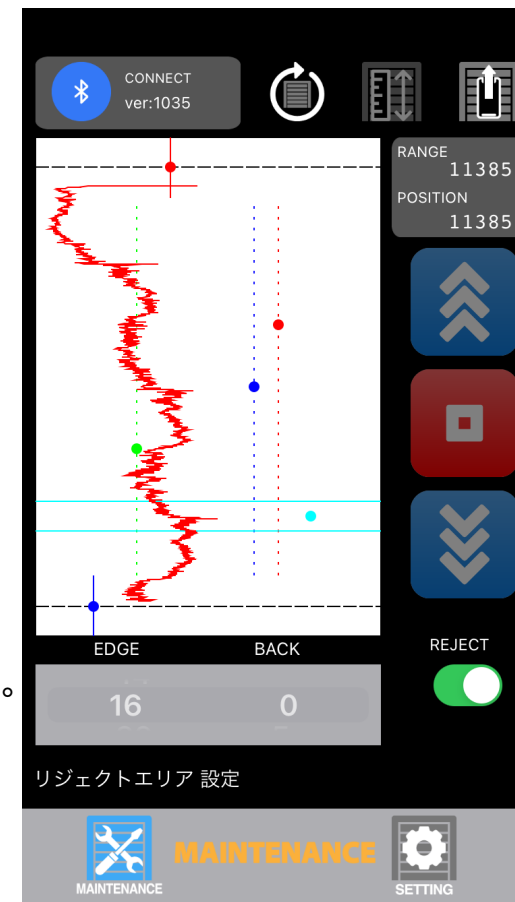
接続ボタン(非接続時)



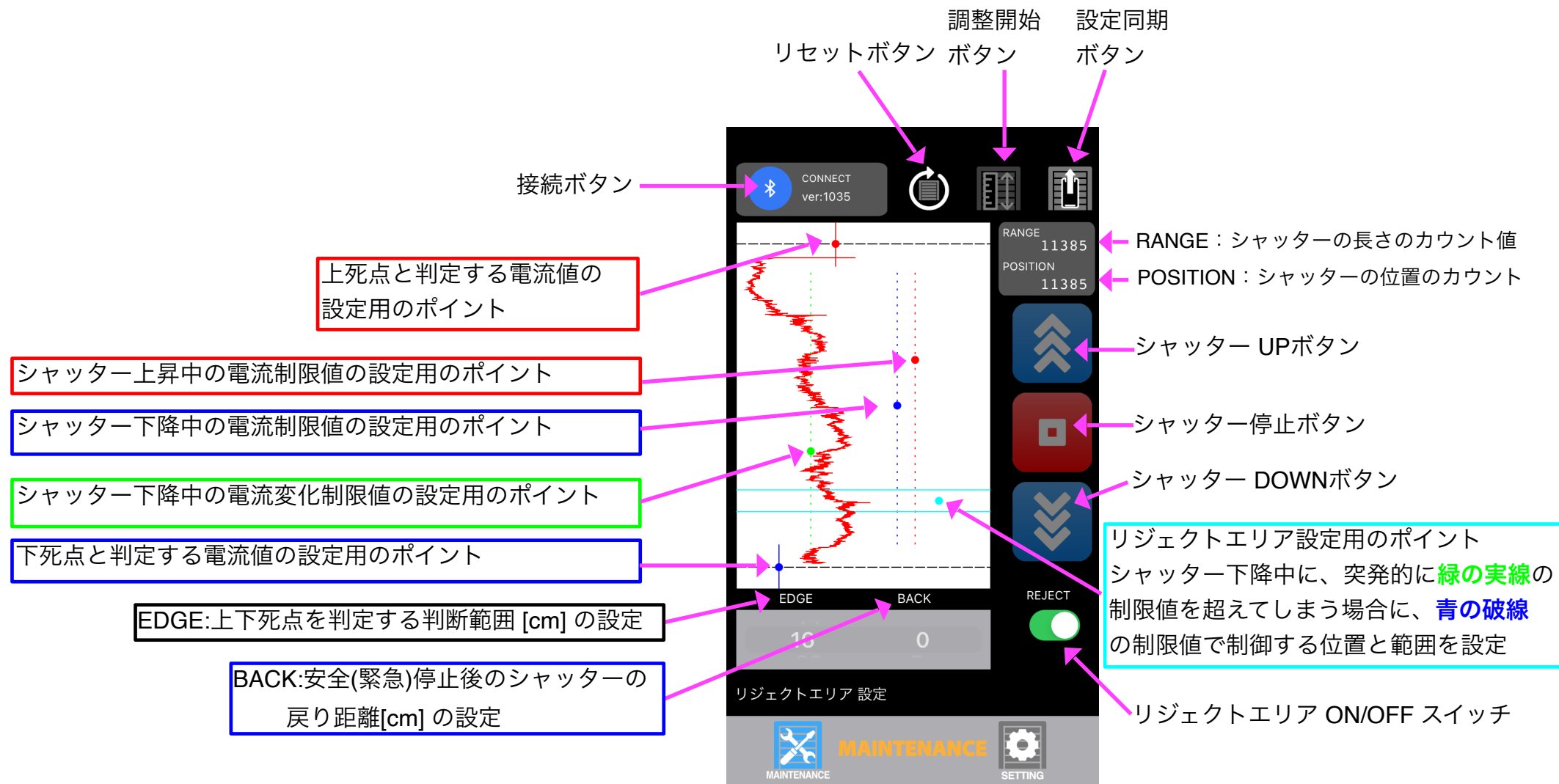
接続ボタン(接続時)

- ・シャッターへの接続が成功すると、接続ボタンが青くなり、接続ボタンの右に[CONNECT]と表示されます。

UPボタン、DOWNボタン等も使えるようになります。




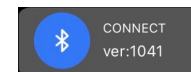
調整画面の説明



シャッターの調整

α. 窓シャッター電動化KITの機械部分を取り付けた直後、シャッターは全閉状態だと思います。

β. 接続ボタン  をタップして、接続してください(接続が出来ると、接続ボタンが青



に変わります)。

γ. 接続出来たら、調整ボタン  をタップして調整を開始します。

δ. まず、シャッター上昇時の調整を行います。

スマートフォン画面の下部に「安全を確認して UPボタンをタップしてください」と表示されるので、UPボタンをタップしてシャッターを上げて、全開状態にします。

ε. シャッターが上昇していくに連れて、右の画像の様なグラフが描画されていくので、シャッターが止まるまで待ちます。
シャッターが上昇途中で止まってしまう場合は、上昇中の電流制限値を超えていると思われるので

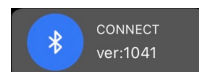
シャッター上昇中の電流制限値の設定用のポイント

をグラフの右側へ移動させてください。

上昇中の電流制限値を上げてから、再度調整を初めからやり直してください。

(ある程度のマージンをとって設定します)

再度調整する場合、接続ボタン



をタップして接続解除してから、

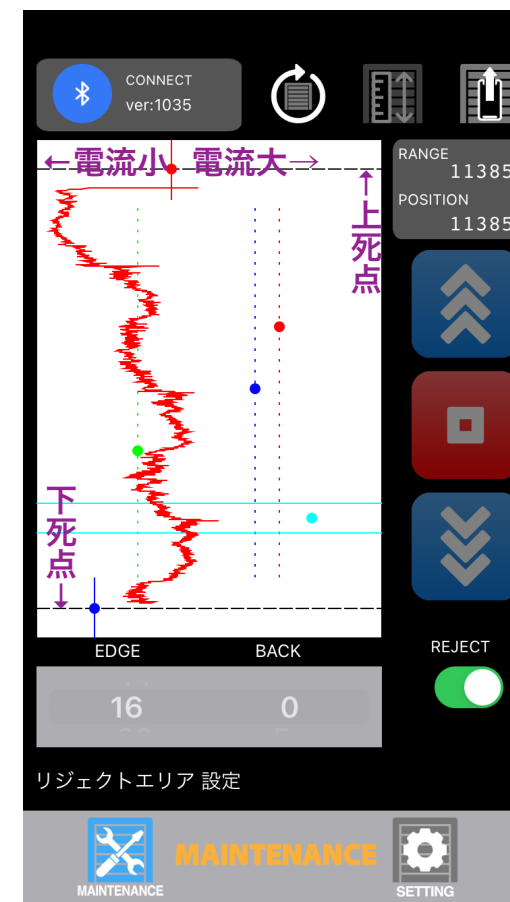
再度接続を行ってください。

シャッターが上端付近で止まる場合は、

上死点と判定する電流値の設定用のポイント

をグラフの右側へ移動させて、止まらないように調整します。

シャッターが上がりきると、「全開ですか? 確認して DOWNボタンをタップしてください」と表示されます。



㋝. 次にシャッター下降時の設定を行います。

DOWNボタンをタップして、シャッターを下降させます。

シャッターが下降していくに連れて、右の画像の様なグラフが描画されていくので、シャッターが止まるまで待ちます。

シャッターが下降途中で止まってしまう場合は、下降中の電流制限値を超えていると思われるので

シャッター下降中の電流制限値の設定用のポイント (縦方向の青の破線)

シャッター下降中の電流変化制限値の設定用のポイント (緑の実線)

をグラフの右側へ移動させて

下降中の制限値を上げてから、再度調整を初めからやり直してください。

(ある程度のマージンをとって設定します)

シャッターが下端付近で止まる場合は、

下死点と判定する電流値の設定用のポイント

をグラフの右側へ移動させて、止まらないように調整します。


シャッターが全閉するようになったら、設定同期ボタン  をタップして設定します

シャッター下降時にシャッターの引っ掛かり等により、偶発的に制限値を超えてしまい停止することがあります。その様な状況が発生する場合はリジェクトエリアを使用します。リジェクトエリア ON/OFF スイッチをON(ノブが右側)にします。

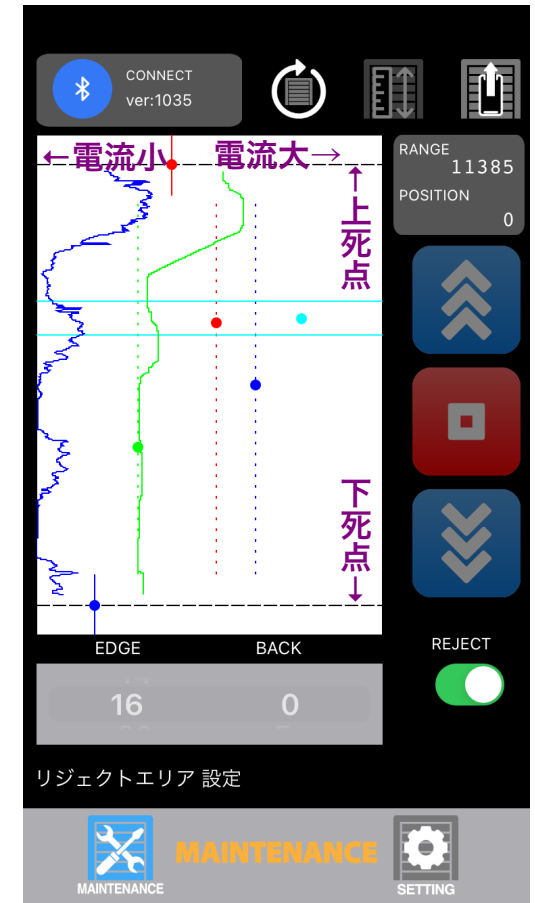
すると、**リジェクトエリア設定用のポイント** が表示されます。

偶発的に止まってしまう位置(上下方向)に移動させ、左右方向に移動させて、そのエリアが含まれるように範囲を設定します。

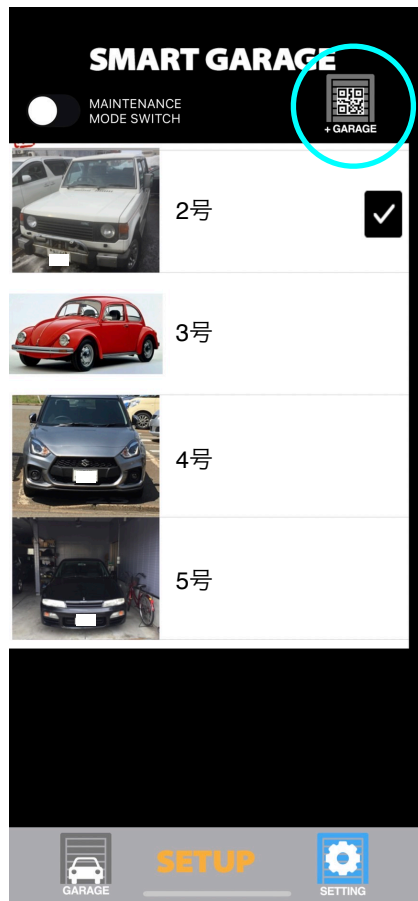
設定したリジェクトエリアでは、**緑のライン(曲線)**の制限値ではなくて、**青の破線**の制限値で制御します。

リジェクトエリアを設定したら、設定同期ボタン  で設定をしてください。

ここまでで電動シャッターの調整は終了です。



4. 通常モードでのシャッターの開け閉め



- ・シャッター選択画面を選択します。
- ・青丸で囲ったメンテナンスモードボタンをタップして、通常モード(ノブが左)に変更します。
- ・この状態でメイン画面に戻ると、通常モードのシャッター開閉操作画面が表示されます。

上昇ボタン

停止ボタン

下降ボタン

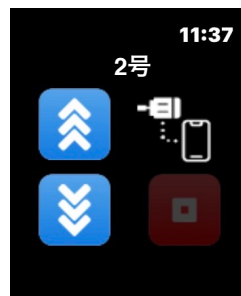


- ・上昇ボタンをタップするとシャッターが上昇します
- ・下降ボタンをタップするとシャッターが下降します
- ・停止ボタンをタップすると動作中のシャッターが停止します。

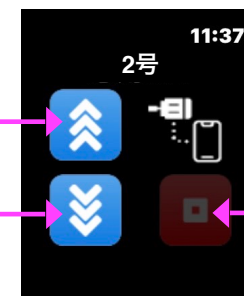
5. Apple Watch操作方法に



- Smart Garage2アプリで、操作したいシャッターのメイン画面を表示させると、Apple Watchに同シャッターが選択されます。
- Apple Watchの「Digital Crown」を回すことで、操作したいシャッターの選択が可能です。
- iPhoneでは、Smart Garage2アプリを起動させた状態でご使用ください。



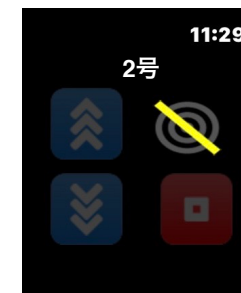
Apple Watch操作画面



Apple Watch操作画面



リモコンが1ボタン式の場合の操作画面
(コンバーターまたは、Aスイッチをお使いの場合)



左の画面状態では、Apple Watchを操作頂けません。

- 上昇ボタンをタップするとシャッターが上昇します
- 下降ボタンをタップするとシャッターが下降します
- 停止ボタンをタップすると動作中のシャッターが停止します。
- ご使用になる当社製品により、表示される画面が異なる場合があります。
- iPhone側で「メイン画面」以外を表示の場合、Apple Watch側では操作頂けないので、ご注意下さい。